



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

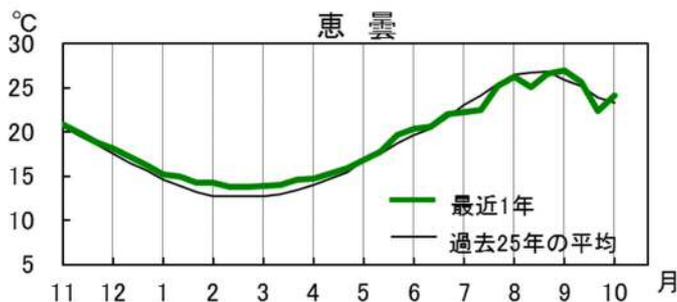
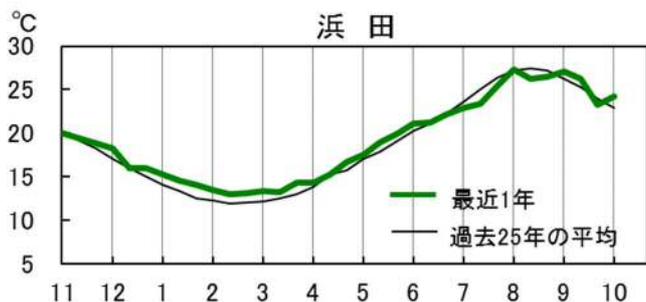
<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《9～10月の海況》

	9月平均	平年差	評価
浜田	25.5℃	+0.3℃	平年並み
恵曇	25.0℃	±0.0℃	平年並み

沿岸定地水温は、浜田地区では、9月上旬は「平年並み」、中旬は「やや高め」、下旬は「平年並み」となり10月に入り上旬時点で「かなり高め」で経過しています。恵曇地区では、9月上旬は「やや高め」、中旬は「平年並み」、下旬は「やや低め」となり、10月に入り上旬時点で「やや高め」で経過しています。



《9月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は16トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、サバ類は235トンで平年の3.6倍、マアジは163トンで平年並みとなりました。隠岐地区ではウルメイワシ、サバ類、ブリ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は35トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ウルメイワシは2,008トンで平年の5.4倍、サバ類は626トンで平年の7割、ブリは485トンで平年の1.1倍となりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ（全体の100%）が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は6kgで平年を下回りました。西郷地区（属人5トン以上）ではケンサキイカ（全体の100%）が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は15kgで平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではアカムツ、ムシガレイ、キダイを主体に、1統1航海当たりの漁獲量は12.6トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、アカムツは平年の1.8倍、ムシガレイは平年の7割、キダイは平年の9割でした。その他、イボダイは平年の4倍、マダイは平年の1.4倍だった一方、アナゴ・ハモ類は平年の6割、ケンサキイカは平年の1割以下の水揚げに留まりました。

【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではアナゴ・ハモ類、アカムツ、スルメイカ主体の漁況で、総漁獲量は426トンで平年の1.1倍、1統1航海当たりの漁獲量は803kgで平年の1.2倍でした。魚種別の漁獲量の動向は、アナゴ・ハモ類は平年の3.0倍、アカムツは平年の1.9倍、スルメイカは平年の4.4倍でした。その他、アンコウは平年並み、キダイ、カワハギ類はともに平年の7割でした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、ブリ、シイラ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は27.7トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、サワラ類は平年の9割、ブリは2.1倍、シイラは3.3倍でした。石見地区ではサワラ類、サバ類、ブリ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は18.2トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、サワラ類は平年の7割、サバ類は5割、ブリは2.6倍でした。隠岐地区ではヒラマサ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は10.5トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ヒラマサは平年の5.9倍と好調でしたが、サバ類・ブリ・マイワシ等が2～3割と不漁でした。

【釣・縄】

出雲地区ではサワラ類、ケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は21kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、サワラ類が平年の4.3倍、ケンサキイカが3割でした。石見地区ではヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は16kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ヒラマサが平年の1.5倍でしたが、ケンサキイカが1割以下と不漁でした。隠岐地区ではカサゴ・メバル類、キントキダイ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は15kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、カサゴ・メバル類が平年の1.4倍、キントキダイ類が2.1倍でしたが、ケンサキイカが1割以下と不漁でした。

【令和元年 9 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	443 トン	127%	163%	16 トン	99%	119%	◎
	隠岐	ウルメイワシ、サバ類、ブリ	4,132 トン	69%	59%	35 トン	65%	69%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	0.1 トン	1%	1%	6kg	5%	2%	▲
	西郷	ケンサキイカ	0.1 トン	1%	1%	15kg	11%	17%	▲
沖合 底びき網	浜田	アカムツ、ムシガレイ、キダイ	304 トン	106%	111%	12.6 トン	97%	100%	○
小型 底びき網	大田	アナゴ・ハモ類、アカムツ、スルメイカ	426 トン	133%	113%	803kg	114%	116%	◎
定置網 (大型)	出雲	サワラ類、ブリ、シイラ	359 トン	93%	105%	27.7 トン	93%	110%	○
	石見	サワラ類、サバ類、ブリ	73 トン	56%	73%	18.2 トン	56%	73%	▲
	隠岐	ヒラマサ	42 トン	33%	50%	10.5 トン	50%	75%	▲
釣り・縄	出雲	サワラ類、ケンサキイカ	27 トン	75%	64%	21kg	89%	98%	○
	石見	ヒラマサ	21 トン	54%	51%	16kg	62%	75%	▲
	隠岐	カサゴ・メバル類、キントキダイ類	11 トン	34%	36%	15kg	51%	67%	▲

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下
 大型定置網漁業は 1 統当り漁獲量です。